

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 20

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	診療所整備事業											
所属名	市民保健部 医療課 地域医療対策グループ											
第七次総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	分野	5	健康・保健・医療	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	施策	1	地域医療体制の充実
予算科目	01	01	01	一般管理	費	15	総務管理費(国民健康保険事業特別会計直診勘定)					事業
					費							事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	直営診療所の今後のあり方(H22~H26 5箇年計画)											
事業の実施主体	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 市以外→											
事業の実施方法	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 指定管理 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	8,603 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	地域住民が将来にわたって、安心して医療が受けられるように、へき地医療の確保と充実を図る		
概要	事業の実施手法、手順	・施設の耐震診断結果に基づき、丹生川診療所の耐震補強を行う ・施設の耐震診断結果及び老朽化に対応するため、荘川診療所、清見診療所の改築を行う		
概要	事業始期・終期	始期: 21 年度から	終期: 26 年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 計画に基づき実施する			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)			0	19,000	5,000	100,000	
総合計画計画額(計画額)			72,500	19,000	5,000	100,000	
財源	事業費	予算額	72,500	19,000			
	(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	68,817				
	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
繰入	予算額		72,500	19,000			
	決算・見込		68,817				
一般財源	予算額		0	0	0		
	決算・見込		0	0			
H17国勢調査		96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価			
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%	-			
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	0	715		
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	0	2,139		
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人	0	7,999		
	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人				

(成果面)

活動・成果指標	指標名	資料・出展算出式						直営診療所の今後のあり方	単位	箇所
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
活動指標	活動指標	目標値	—	—	1	0	1	0		
	実績値	0	1	1						
	達成率	—	—	100		0				↑
成果指標	成果指標	目標値	—	—	1	0	1	0	%	
	実績値	0	1	1						
	達成率	—	—	100.0		0.0				↑

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	荘川診療所改築工事 木造平屋建 A=198.74㎡ 丹生川診療所耐震補強工事 RC耐震壁の増設(2箇所)	68,817 千円
	事業費	(内容) 荘川診療所改築工事 62,477 千円 丹生川耐震補強工事 5,938 千円 その他 402 千円	
	受益者負担	(内容) なし	
本年度	対象・手段	荘川診療所外構工事 A=1,164.70㎡ 旧荘川診療所解体工事 鉄骨2階建 A=408.57㎡	19,000 千円
	事業費	(内容) 荘川診療所外構工事 13,000 千円 荘川診療所解体工事 6,000 千円 その他 千円	
	受益者負担	(内容) なし	

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)

(現状及び判定理由) 市民ニーズ、社会環境等、対象・意図が適正で、今後も実施する必要性が高い。

判定	目的評価
A:非常に高い	A
B:高い	
C:低い	
D:非常に低い	

②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)

該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

減少	維持	増加	1
(判定理由) 改築にあつては適正規模を考慮し、耐震化においては効率的で効果の高い工法でコスト縮減に努めた。			

③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)

該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

拡大	1	維持	減少
(判定理由) 新築移転の荘川診療所については、消防署と隣接していることから一層の救急医療連携が地域住民からも期待されている。丹生川診療所については、工事期間中も休診することなく、耐震補強を行うことができ地域からも安心の声が上がっている。			

項目	②コスト面		
③成果面	増加	維持	減少
	拡大	○	
	維持		
減少			

コスト・成果ポジション

C

第3水準

一次評価 主管課		
評価区分	III	
判断の理由及び課題問題点	耐震補強を必要とする診療所が4箇所あり、うち2施設は今年度で完了。診療所は災害時における救護拠点となることから、今後も早急な対応を行っていく必要がある。	

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案 (下記チェック)

計画どおり 実施 改善・継続 終期設定 休止 廃止 完了

次年度実施方針

耐震診断で清見診療所の早急な対応が必要とされている。合併後、旧市内からの利用者も増え、現在黒字経営となっており、同地域に診療所の存続は必要不可欠であることから、計画期間内での対応を考える。コスト面等から新築移転の方向で進めたいが、移転先について候補地の選定が急務となる。

総合評価

コスト	成果	評価区分
高	高	III

「II」以上の水準に向けた改善が必要

診療所は地域住民が将来に渡って、安心して医療が受けられるようにするため必要な施設である。今後の整備の検討に当たっては、必要性の面から施設の統廃合を含めた検討、コスト面等から補強か改築かの検討など総合的な検討が必要である。